**英検5級　単語リスト #8**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **日本語** | **品詞** | **英単語・フレーズ** | **例** |
| (1) オーストラリア | 【名（固有）】 | **Australia** | **She is from Australia.**（彼女はオーストラリア出身です） |
| (2) 男の子 | 【名（可算）】 | **boy** | **That boy is Kota.** （あの男の子はコウタです） |
| (3) 女の子 | 【名（可算）】 | **girl** | **That girl is not Shoko.** （あの女の子はショウコではないです） |
| (4) 息子 | 【名（可算）】 | **son** | **He is my son.**（彼は私の息子です） |
| (5) 娘 | 【名（可算）】 | **daughter** | **She is not my daughter.** （彼女は私の娘ではありません） |
| (6) ジャケット / 上着 | 【名（可算）】 | **jacket** | **That is a good jacket.** （あれは良いジャケットです） |
| (7) 自転車 | 【名（可算）】 | **bicycle /** (1)**bike** | **This bicycle is new. / This bike is new.** （この自転車は新しいです） |
| (8) （建物としての）家 | 【名（可算）】 | (2)**house** | **That house is small.** （あの家は小さいです） |
| (9) カレンダー | 【名（可算）】 | **calendar**  | **It is not a calendar.** （それはカレンダーではないです） |
| (10) 図書館 | 【名（可算）】 | **library** | **This is a library.**（これは図書館です） |

(1) bike には「バイク（オートバイ）」という意味もある。

(2)「自宅 / 家庭」という意味の「家」は通常home が使われる。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **日本語** | **品詞** | **英単語・フレーズ** | **例** |
| (11) 銀行 | 【名（可算）】 | **bank** | **It is not a bank.**（それは銀行ではないです） |
| (12) 食べ物 | 【名（不可算）】 | (3)**food** | **This is not food.** （これは食べ物ではないです） |
| (13) 忙しい | 【形】 | **busy** | **I am not busy.**（私は忙しくないです） |
| (14) 空腹な / お腹のすいた | 【形】 | **hungry** | **I am hungry.** （私は空腹です） |
| (15) かわいらしい / かれんな | 【形】 | **pretty** | **She is pretty.**（彼女はかわいらしいです） |
| (16) 若い / 幼い  | 【形】 | **young** | **We are not young.**（私たちは若くはないです） |
| (17) 黄色の | 【形】 | **yellow** | **Our bus is yellow.** （私たちのバスは黄色いです） |
| (18) 緑色の | 【形】 | **green** | **That green house is big.** （あの緑色の家は大きいです） |
| (19) オレンジ色の | 【形】 | (4)**orange** | **His car is orange.** （彼の車は、オレンジ色です） |
| (20) ～と― | (5)【接】 | **～ and ―** | **Ken and Asuka are smart.** （ケンとアスカは賢いです） |

(3) food は「（飲み物に対しての）食べ物」といったように「ジャンル」や「物の種類」といったイメージの言葉なので基本的に不可算名詞。ただし個々の種類を言う場合は、可算名詞を使うこともできる。

(4) 食べ物のオレンジ（かんきつ類の果物）という意味もある。

(5)【接】は、接続詞の略。接続詞とは、「文と文」や「単語と単語」をつなぐ時に使われる言葉。

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。